

LED トランスコースター 取付け・取扱い説明書

TOYOTA 40ヴェルファイア / 40 アルファード 車両専用品

この度は、お買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
本書は LED トランスコースターの取扱い、及び取付け作業について記載してあります。
取付け前には本書を必ずお読みいただき、正しい取付けを行って下さい。
本説明書に記載されている分解方法、イラスト(画像)、及び作業方法はあくまでも一例です。
車両ごとに脱着方法、取付け方法が異なりますのでお取付けの際はお車の整備要領書等をご確認の上
車両に適した手順で作業を行って下さい。

安全に関する表示

この説明書の中で使用されている記号は、次のようになっています。

警告、**注意**、**注記**、**アドバイス** のところは、とくにしっかりお読み下さい。

警告	取付け・取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、死亡または重大な傷害につながるおそれがある内容です。
注意	取付け・取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、傷害につながるおそれがある内容です。
注記	取付け・取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、物的損害につながるおそれがある内容です。
アドバイス	この用品のために守っていただきたいこと、または知っておくと便利な内容です。

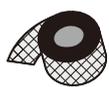
適用車種および適用年式

※ **モデルスタマルチカラーインテリアイルミネーション装着車両に限る**

《車種名》 トヨタ 40ヴェルファイア / 40 アルファード

《年式》 2023/6 ~ 《型式》 AGH4#W/AAHH4#W 型
TAHA4#W/AAHH4#W/AAHP45W 型

推奨準備工具



●養生テープ



●ビニールテープ
又は布テープ



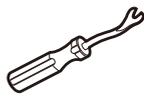
●パーツクリーナー



●ウエス



●検電器



●クリップリムーバー



●ペンチ



●ニッパー



●ステップドリル
(2Φ / 16Φ)



●トルクレンチ



●超音波カッター

取付け準備作業

1. 取付け作業は、安全な場所に車を駐車させ、パーキングブレーキを確実に操作して下さい。
2. 取付け作業は、必ずエンジンを停止して行って下さい。
3. 取付け作業の前に、必ずバッテリーの (-) 側コードを外して下さい。また (-) 側コードは (+) 側コードと接触しないようにして下さい。
4. 構成部品及び部品数量が取付け説明書通りになっているか、また不良部品の混在等はないかを確認して下さい。
5. オーディオ等の設定をメモしておく、後の調整がスムーズに行えます。

取扱い方法

1. 車両のイグニッションスイッチに連動

最新の適合情報や
注意事項などは
弊社HP・製品ページ
にて必ずご確認ください



取付け動画は
こちらから



本製品は
ドレスアップを目的に
製作された
LED製品です

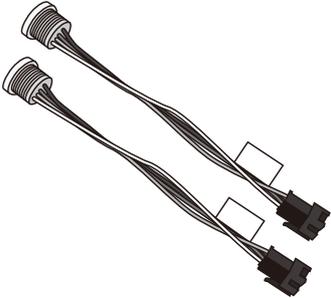
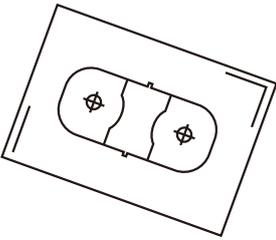
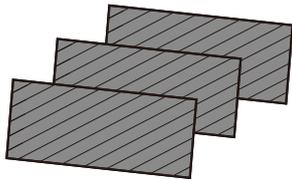
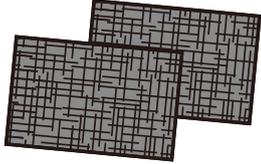
JUNACK
WWW.JUNACK.COM

完成図全体像



構成部品

※部品が全てあるか確認して下さい。

<p>トップパネルL  トップパネルS </p>			
<p>トップパネルL/S ×各1</p>	<p>LED 灯体 ×2</p>	<p>電源ハーネス ×1</p>	<p>固定用ナット・防滴用両面テープ×各2</p>
			
<p>穴あけ加工用型紙 ×1</p>	<p>クッションテープ ×3</p>	<p>エプトシーラー ×2</p>	<p>保証書 ×1</p>

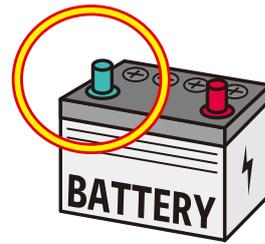
取付け手順

①バッテリー (-) ターミナルを外す

車両整備書を参考にして正しい手順で
バッテリー (-) ターミナルを外します。

画像 1

バッテリー (-) ターミナル
を外す

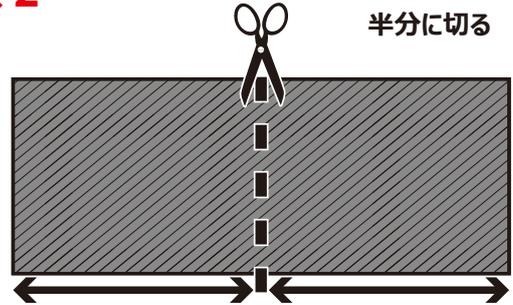


②クッションテープをカットする

画像2を参考に、クッションテープを全てカットして下さい。

画像 2

半分に切る

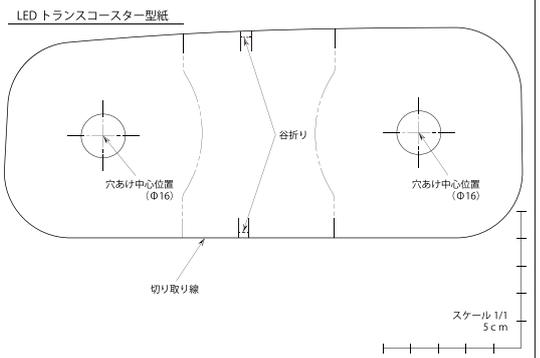


③付属の型紙をカットする

画像3を参考に、付属の型紙をハサミ等を使用し
カットして下さい。

画像3-2  印部分の凹みがきちんと出るように
処理するようにして下さい。

画像 3



画像 3-2



④ディスプレイ左右パーツの取外し

肘掛けを開け、画像4を参考にパネル後方①を上、パネルを②の方向に引きパネルを外す。
左右ともに行う。



⑤シフトレバー下部のパネル外し

画像5を参考に該当パネルを車両整備書に従い正しい手順で外して下さい。



⑥シフトレバーを外す

画像6を参考にシフトブーツを下にさげ、ピック等を使い固定ピンをスライドし外す。
ピンを外したら上に引き上げシフトノブをはずす。



画像6-2 ○印部分の固定ピンはなくしやすいのでこの時点でシフトへ戻しておく事を推奨します。



画像6-3形状のシフトレバーの場合は
画像6-3を参考に、シフトレバーを逆時計回りに回転させ、外して下さい。

注記

シフトレバーの形状が2種類あります。
取外し方法が異なりますのでご注意ください。



⑦ドリンクホルダーのコンソールパネルを浮かせる

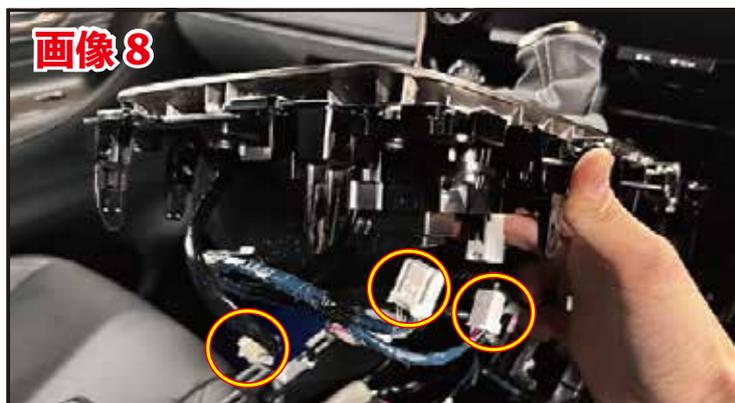
画像7を参考に、ドリンクホルダーのコンソールパネルを浮かせるように外して下さい。



画像7

⑧コネクタを外す

画像8 ○印部分のコネクタを3カ所外します。



画像8

⑨ハーネス固定部のクリップを外す

画像9 ○印部分のクリップを画像9-2を参考に外して下さい。



画像9

画像9-2

⑩コンソールパネルを取外す

画像10 ○印部分のコネクタを外します。



画像10

画像10-2 ○印、裏側のコネクタ固定クリップをドリンクホルダーから外します。



画像10-2

①ドリンクホルダー穴あけ準備

コンソールパネルからドリンクホルダーを取外し、
画像11・11-2の黄色点線部分を参考に
ハーネス固定用の突起部へニッパー等を使用し
左右に切込みを入れる。

画像11-3、黄色矢印の方向に
切り込みを入れた側から起こす様に持ち上げて下さい。

注記

画像11-4  印にある赤点線部分は
なめらかな面になるよう、
バリなどの凹凸を取り除いて下さい。
凹凸が残っていると、次P画像12-3の作業の際に
ドリルの先端が作業面に当たる際に不安定になり、
穴位置がずれる原因になります。

画像11-5・11-6を参考に、
ドリンクホルダーを表に向け、
仕切りパーツを外して下さい。

画像11-7を参考に、付属の型紙をしっかりと合わせます。

注記

型紙の方向を間違えないようしっかりと確認して下さい。



⑫ ドリンクホルダー穴あけ

画像12を参考にドリル等を使用し
型紙の中心位置2カ所へ
小さめの穴をあけます(画像12-2 ○印部分)。

注 記

ドリルを扱う際はドリンクホルダーに
キズを付けない様に十分注意して下さい。

画像12-3を参考に、
画像12であけた小さめ穴へ、
裏側から16φのドリルを当て穴をあけ、
穴あけ箇所のバリ取りを入念に行います
(画像12-4)

注 記

穴位置が著しくずれた場合、トップパネルが
収まらない可能性があります。
穴あけ位置には十分にご注意下さい。

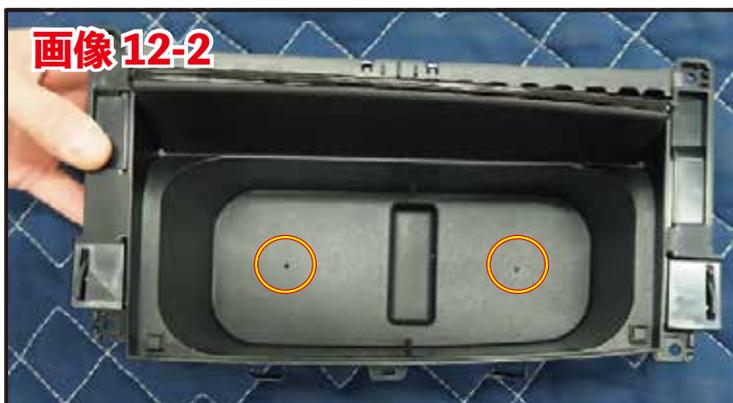
また、バリ取りはしっかり確実に行ってください。
不十分な場合、LED灯体が外れたり
水漏れの原因になるなど様々な不具合の要因になります。

画像12-5を参考に、ドリンクホルダー内側を脱脂し、
付属の防滴用両面テープを貼付け、しっかりと圧着する。

防滴用両面テープを貼付けたら、画像12-6を参考に、
表面の剥離紙を剥がして下さい。



画像12-2



画像12-3



画像12-4



画像12-5



画像12-6



⑬ 灯体本体の装着～コネクタ接続

画像13・13-2を参考に、前P手順⑩で加工した穴へLED灯体を嵌合させ、付属のナットを使用し固定します。

強く締めすぎると製品が破損する恐れがありますので、0.5Nmで締付を行ってください。
(締めきってから0.5角回る位です)

注記

ナットは歪みのない様しっかりと装着してください。

画像13-3・13-4を参考に電源ハーネスを接続します。

画像13-5・13-6を参考に、ナットで固定した2箇所へ付属のエプトシーラーを貼付けます。

画像13-7・13-8・13-9・13-10を参考に、3カ所のコネクタ接続部分に本書2P手順2でカットしたクッションテープを貼付け、巻付けるようにしっかり圧着して下さい。



画像13



画像13-2



画像13-3



画像13-4



画像13-5



画像13-6



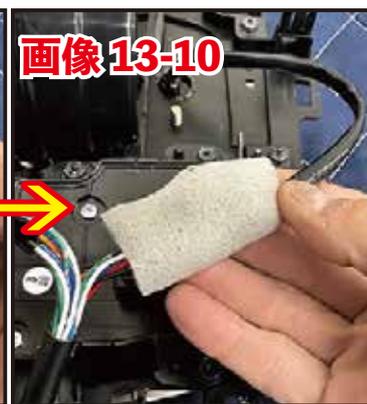
画像13-7



画像13-8



画像13-9



画像13-10

⑭コネクタ復元

本書4P手順8・9・10で外した各種コネクタを復元します。
復元する際は画像14・14-2を参考に
クリップ付きハウジングを外してから作業して下さい。

画像14-3・14-4を参考に、
復元したコネクタとハーネスを適宜まとめ、
メインハーネスと共にクッションテープを巻きつけ、
しっかり圧着して保護をする。

画像14-5を参考に、割り込みハーネスと
マルチインテリアイルミネーションの電源側のコネクタを
接続し、クッションテープを巻きつけ、
しっかり圧着して保護をする。

全てのコネクタをを復元して下さい。

画像14



画像14-2



画像14-3



画像14-4



画像14-5



⑮車両の復元

車両整備書に従って正しい手順で外した部品等をすべて正常な状態に戻します。
貼付けた養生テープ等もキレイにはがして下さい。

点灯確認をして問題がなければ終了です。

画像15



お取付前に

右図を参照し、テスター等で12ボルト以上の電圧が供給されている配線を確認してから、結線作業を行って下さい。



⚠ 配線の処理に関して注意

余った配線を束ねたり(結束バンド等)、発熱する場所に固定すると、配線の断線や溶解など様々な不具合の原因になります。